

研究施設探訪

6月4日(火)、経済産業省の菅原一秀副大臣が政務で来校され、プログラム担当者である逢坂哲彌教授と林泰弘教授が関わる系統連系蓄電池システムやスーパードライル室(デューポイント=空気が液化する温度: -95度で世界トップクラス)を基盤とするリチウムイオン二次電池作製評価施設を見学されました。

また、6月26日(水)、本プログラム学生が林泰弘教授のEMS (Energy Management System)新宿実証センターを訪問しました。国際標準規格を用いたデマンドレスポンスによる次世代エネルギーマネジメント技術や、再生可能エネルギー電源の導入を促進するための次世代電圧制御技術の研究開発などが20社以上の企業との協働により推進されています。

これらも含めて、世界レベルの研究環境が本プログラム参加学生の教育にも活用され、新たな挑戦の場となります。

▶菅原副大臣に説明する逢坂教授と林教授



◀実証設備・システムについて説明を受ける学生

"一流"の考え方を知るために

▶学生に交ざって研究プレゼンを聴き、一人ずつ丁寧に御指導くださいました



6月11日(火)、連携機関であるJX日鉱日石エネルギー(株)常務執行役員・研究開発本部長(当時)、岡崎肇客員教授の特別講義「早大リーディング大学院1期生・2期生の皆さんへ:基礎のない人に個性は出ない」を実施しました。講義後半には、選抜した学生からの研究プレゼンテーションに対し、岡崎先生が助言する機会も得ました。

本プログラムでは、定期的に国内外のトップレベル研究者や企業CTO等を招聘し、学生との意見交流の場を設けています。

エネルギー・ネクスト コロキウム

● 第5回:5月24日(金)

先進理工学研究科 電気・情報生命専攻
石山敦士 教授
「超伝導の次世代エネルギー分野への応用」



◀石山敦士教授

● 第6回:6月28日(金)

Case Western Reserve大学
石田初男 教授
「If I Can Repeat My Life, Would I Go Abroad Again? Absolutely!!」



◀石田初男教授

● 第7回:7月12日(金)

(独)物質・材料研究機構
魚崎浩平 フェロー
「イオン、溶媒から固液界面まで -45年の彷徨と出会い」

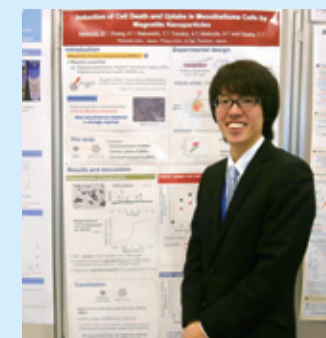


◀魚崎浩平フェロー

受賞・新聞掲載

● 松田翔風さん(1期生)がThe 11th International Conference on Ferrites(ICF11)においてICF11 Yamazaki Yohtarō Memorial Student Awardを受賞しました。

● 田中克明さん(2期生)のアイデアが活かされた環境調査向け移動ロボットが、日本経済産業新聞に掲載されました。



◀松田翔風さん